

貸出方法について

長野版アートゲームの貸出をご希望の方は、「長野版アートゲーム申込書」に必要事項をご記入の上、当館までFAXまたはメールでお送りください。(販売はしていません)

- 対象：長野県内の学校等教育機関または美術館や公民館、福祉施設での教育活動
「長野版アートゲーム」を使用した研修会なども実施しています。お気軽にお問い合わせ下さい。
- 受け取り方法：郵送あるいは来館での受け取りとなります。

長野県立美術館「長野版アートゲーム」申込書

学校名 (団体名称)			
住所	〒		
TEL		FAX	
E-mail			
ご担当者名		使用する学年	
貸出内容	冊子	冊	カード(生徒用) 箱
	CD-R	枚	カード(教員用) 箱
使用期間	年	月	日 ~ 年 月 日
借用日	年 月 日 (到着希望予定日)		
返却日	年 月 日		

*この申込書は、当館HPからもダウンロードすることができます。*確認のため折り返しご連絡をさせていただいております。*郵送返却の発送費はご負担願います。

お申込み・お問い合わせ

長野県立美術館(アートゲーム係)

〒380-0801 長野県長野市箱清水1-4-4

Tel.026-232-0052(平日9:00~17:00)

Fax.026-232-0050

Mail.nam-learning@naganobunka.or.jp

https://nagano.art.museum/



長野版アートゲーム

先生のための美術館ガイド

アートゲーム

「長野版アートゲーム」は、作品カードを使ったさまざまなゲームを通じて、美術を身近に感じることができる美術鑑賞用キットです。



長野版アートゲーム

美術は難しいものだと思いませんか。美術作品を楽しむ方法は人それぞれ。例えば、一点一点じっくりと作品に向き合う人もいれば、気に入った作品を中心に鑑賞する人もいます。他の人と感想を話し合ったり、意見交換したりするのも楽しい見方です。

作品の題名や作者についての知識がないと、美術はわからないとお考えの人もいるかもしれませんが、美術は、自由にみて、楽しめるものです。「長野版アートゲーム*」は、カードを使ったさまざまなあそびを通じて、子どもたちのみる力や考える力、伝える力を育み、美術を身近に感じることができる鑑賞用キットです。学校での鑑賞、美術館で団体鑑賞をおこなう際の事前学習、地域文化の学習などにご活用ください。

*「長野版アートゲーム」は、平成20年度文化庁芸術拠点形成事業（ミュージアムタウン構想）のモデル事業として、信州大学、長野県美術教育研究会、長野県総合教育センター、長野県内美術館・博物館のご協力のもとに制作しました。（ガイドブックおよびキャラクターデザインは、中沢デザイン事務所による。）

「長野版アートゲーム」には**3つのアイテム**が入っています。

*1セット、6～8人のグループを目安にご利用ください。

アートカード

長野県内にある美術館、博物館、神社などに所蔵されている作品だけを掲載しています。長野県ゆかりの作家や、世界的に優れた作品、長野県を代表する文化財の中から100点を選びました。カードには作品名や作家名などはあえて記載していません。活動に合わせて枚数や作品を調整してご利用ください。



作品画像CD-R

スクリーン投影用として、教室での鑑賞授業などにご活用ください。

ガイドブック

アートゲームのあそびかた(12種類)や作品の題名や所蔵先、作家の説明、新しいあそびかたの応募方法について書かれています。



あそびかた

ガイドブック掲載7

作品はどれだ!? ゲーム

秘密で選んだカードはどれだ!? みんなで推理してみよう!

- 1 全ての作品カードを表にして並べます。
- 2 じゃんけんで、順番を決めます。
1番の人は、自分のお気に入りカードを他の人にはひみつで1枚選びます。
- 3 他の人は、1番の人が選んだカードについて「Yes・No」で答えられる質問をします。
(例:人が描かれていますか?春ですか?朝ですか?など)
- 4 全員が質問したところで、「せーの」で一斉にカードを指さします。
- 5 1番の人は正解を発表します。当たった人はそのカードをもらいます。
はずれた場合は、1番の人がカードをゲット!
- 6 2番目の人にかわります。
一周して手持ちのカードが多い人が勝ちです。

*対象年齢によっては、カードの枚数を減らすなどして調整してください。



ガイドブック掲載9

なりきりゲーム

作品カードに描かれたものになりきってみよう!

- 1 人物が描かれた作品カードのみを束にして、中央に置きます。
- 2 1番の人は中央のカードを1枚めくり、描かれた人物のポーズや表情を真似します。
- 3 みんなが「似ている!」と賛成したら、自分の手持ちカードとなります。

*対象年齢によっては、動物や、抽象画の作品を混ぜるのも楽しいです。

ガイドブック掲載11

展覧会をつくろう

学芸員になったつもりで、自分たちの展覧会をつくってみよう!

- 1 大きな紙を各グループに配ります。
- 2 全ての作品カードを表にして広げます。
- 3 展覧会のテーマを考え、テーマに合ったカードを5～7枚選びます。
- 4 作品をみてもらう順番を考え、紙に配置し、テーマを書きます。
横一列、たて一列、円、四角など、見せ方(並べ方)は自由です。
- 5 完成したら、グループごとに、
どのような展覧会にしたのか、発表しましょう。

*選ぶカードの枚数を増やしたり、グループでひとつの展覧会を考えるのも楽しいです。
*1人ずつでもできるゲームです。

